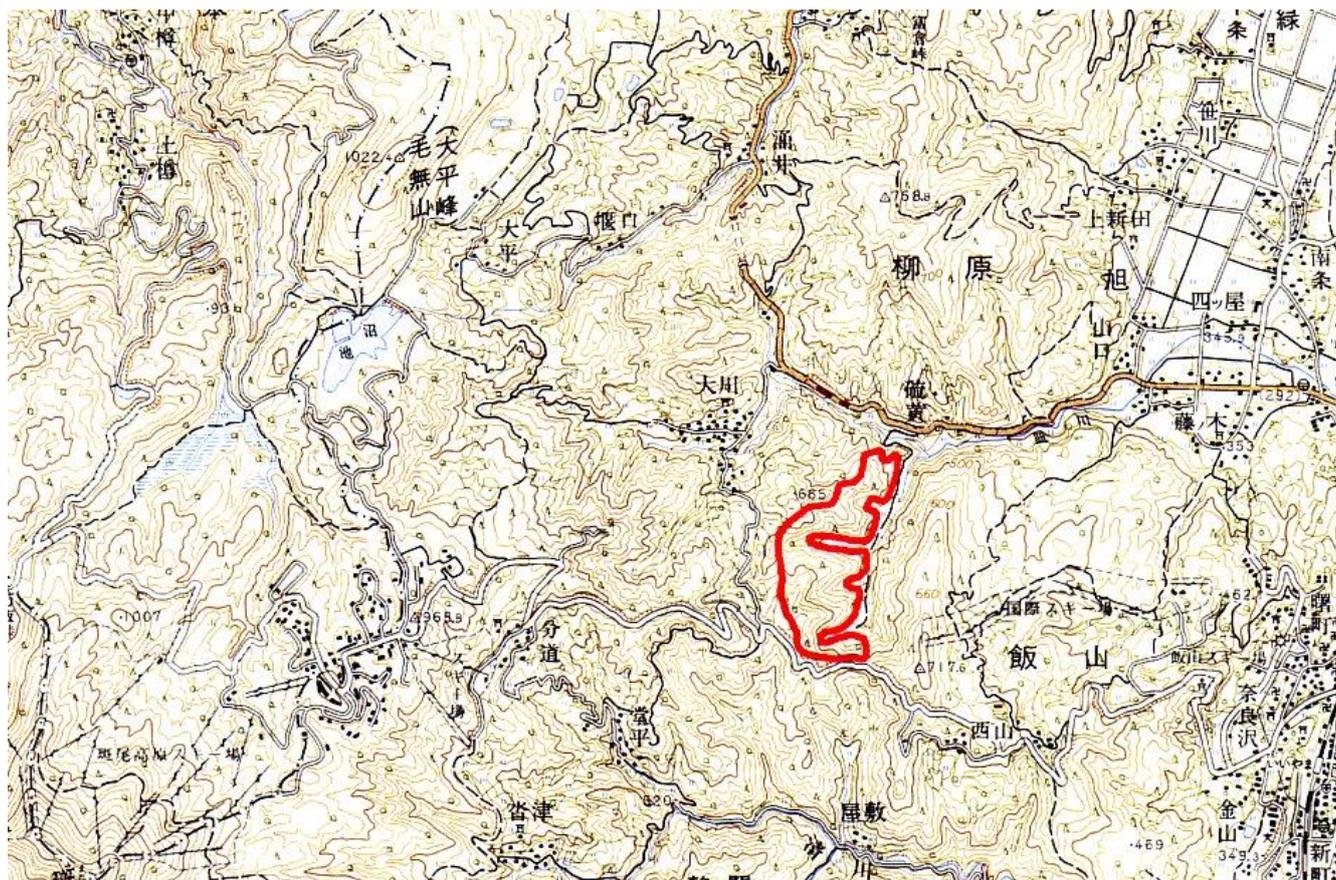


# 柳原県有林



この地図は、国土地理院発行の5万分の1地形図(飯山)を使用したものである。

## <沿革>

柳原県有林は、飯山市の西にあり、標高440mから690mに位置し、斑尾山の麓にある小さな県有林です。

明治42年5月21日、国有林を購入して創設されました。

## <現況・特色>

長野県の北部はスギの産地であり、ここ柳原県有林も主要樹種はスギとなっていますが、豪雪地域のため大部分が根曲がりの状態です。

一般に、南面の斜面は北西から南東に向けて滑動痕跡のある地すべり性地形であり、北面は急斜面となっていて表層崩壊跡が点在しています。

資源が豊富な箇所は道路が接続しておらず、利用が困難な状況です。



### <森林整備の方向>

主要樹種であるスギは、十分に成熟していますが、根曲がりのスギが多く、雪崩の危険があるため、長伐期施業群を中心にゾーニングし、部分的に傾斜が緩やかな北側の林分では、小面積分散型施業で木材生産を目指します。

### <樹種別資源構成>

単位：ha

面積	スギ	アカマツ	ヒノキ・サワラ	カラマツ	その他針	その他広	除地・保残帯
44.68	26.76			0.2		11.13	6.59
100%	60%			0%		25%	15%

